

小学校 20

平成 10 年 度

教育研究員研究報告書

図画工作

東京都教育委員会

平成10年度

教育研究員名簿 (図画工作)

地 区			学 校 名				氏 名							
文	京	区	誠	之	小	学	校	中	島	知	子			
台	東	区	育	英	小	学	校	○	谷	津	公一郎			
墨	田	区	緑		小	学	校	榎	本		稔			
目	黒	区	原	町	小	学	校	上	野	千	絵子			
大	田	区	相	生	小	学	校	岡	田	京	子			
波	谷	区	山	谷	小	学	校	中	村	み	ゆき			
北		区	堀	船	小	学	校	瀧	澤	春	生			
荒	川	区	第	二	日	暮	里	小	学	校	藤	内	智	子
府	中	市	府	中	第	二	小	学	校	津	金	貫	司	
田	無	市	柳	沢	小	学	校	松	本	佳	代			
武	蔵	市	第	十	小	学	校	飯	室		一			
多	摩	市	南	貝	取	小	学	石	丸	典	子			

○ 世話人

担 当 教育庁指導部初等教育指導課指導主事

岡 本 昌 己

目 次

I 研究主題	
1 研究主題について	2
2 授業構想図	3
3 研究の構造	4
4 研究の構造について	5
II 実践授業	
1 地球の声がきこえる（6年生）	6
2 しゃれをいうのはよしなしゃれ（6年生）	8
3 これなんだ？（3年生）	10
4 浮かぶ らく描きーアルミ線を使ってー（5年生）	12
5 ひみつのたからもの（3年生）	14
6 テレポーテーション（5年生）	16
III 題材紹介	
1 カラフルワールド（低学年）	18
2 ひみつのかせき（低学年）	19
3 へんしんしちやおう ひかっちやおう（低学年）	19
4 ほねから・・・ぎょ「魚」うおー（中学年）	20
5 つつんでひらいて（中学年）	21
6 紙を立てよう（中学年）	21
7 紙のレリーフ（高学年）	22
8 銀河鉄道の夜（高学年）	23
9 校舎が見えた（高学年）	23
10 色々な焼き物（高学年）	23
11 猫のいる木（高学年）	23
IV 研究のまとめと今後の課題	24

〈概 要〉

本研究は、子どもたちの思考及び試行の過程を大切にし、教師も子どもとともに悩んだり、失敗したりしながら、さまざまなアイデアを出し合い、相互に理解を深めて創造活動に取り組む授業の在り方を追究した。

研究主題の「自ら楽しく表現する子の育成」のために、子どもの内面に存在する「子どもの思いや願い」、子どもが活動している姿として実在する「子どものやっていること」に焦点を当て、授業の展開の工夫に取り組んだ研究である。

I 研究主題

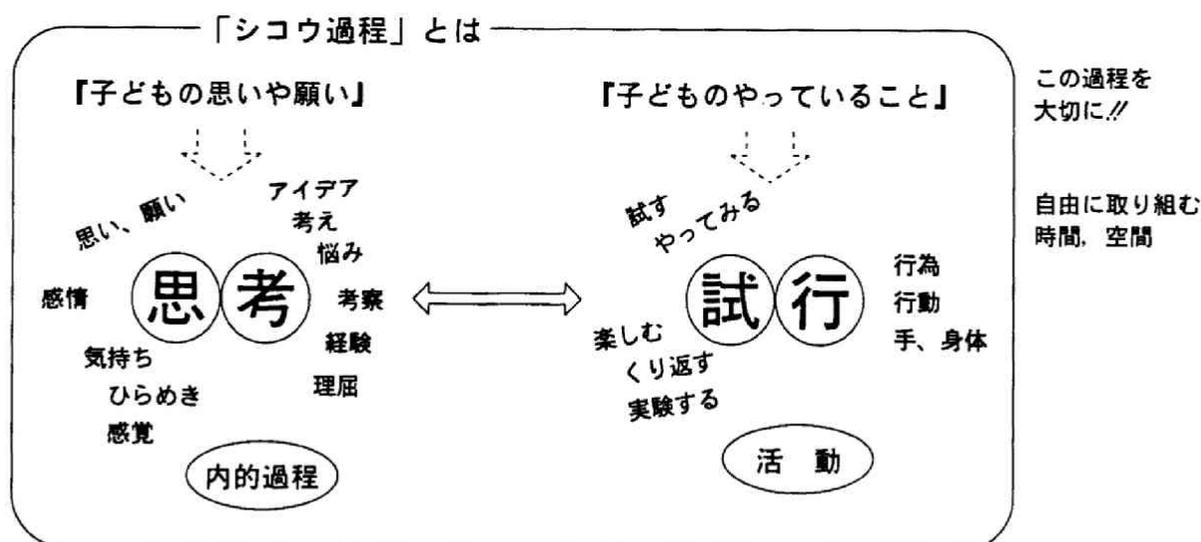
自ら楽しく表現する子の育成

「シコウ（思考・試行）」過程を大切にせる授業

1 研究主題について

興味を引き付け、子どもが意欲的に取り組む有意義な題材開発の研究は、これまで多くの方々が進めてきた。私たちはこのような価値ある題材ということを大前提とし、子どもたちに、授業のはじめにめばえたやる気を最後まで持続させ、より豊かな表現へと深めていくような造形的な創造活動はどう授業を展開していけばよいか考えた。

その子なりにいくらがんばってもうまくいかない、認めてもらえないような状況下では子どもを無気力にしてしまう。子どもの意欲を持続させるためには、子どもが表現した結果だけではなく、その過程も大切に認めていく必要がある。つまり、上手に表現することよりも活動を通して何を学んだかを大切に、そのことを評価する。このような取り組みをすることによって、より表現への意欲が高まり、チャレンジ精神も育つのではないかと考えた。そこで、「子どもの思いや願い」「やっていること」を大切に、認めていく授業、つまり、一人一人の子どもの心の動きに着目した「シコウ（思考・試行）過程を大切にせる授業」というテーマのもとに研究を進めていくことにした。

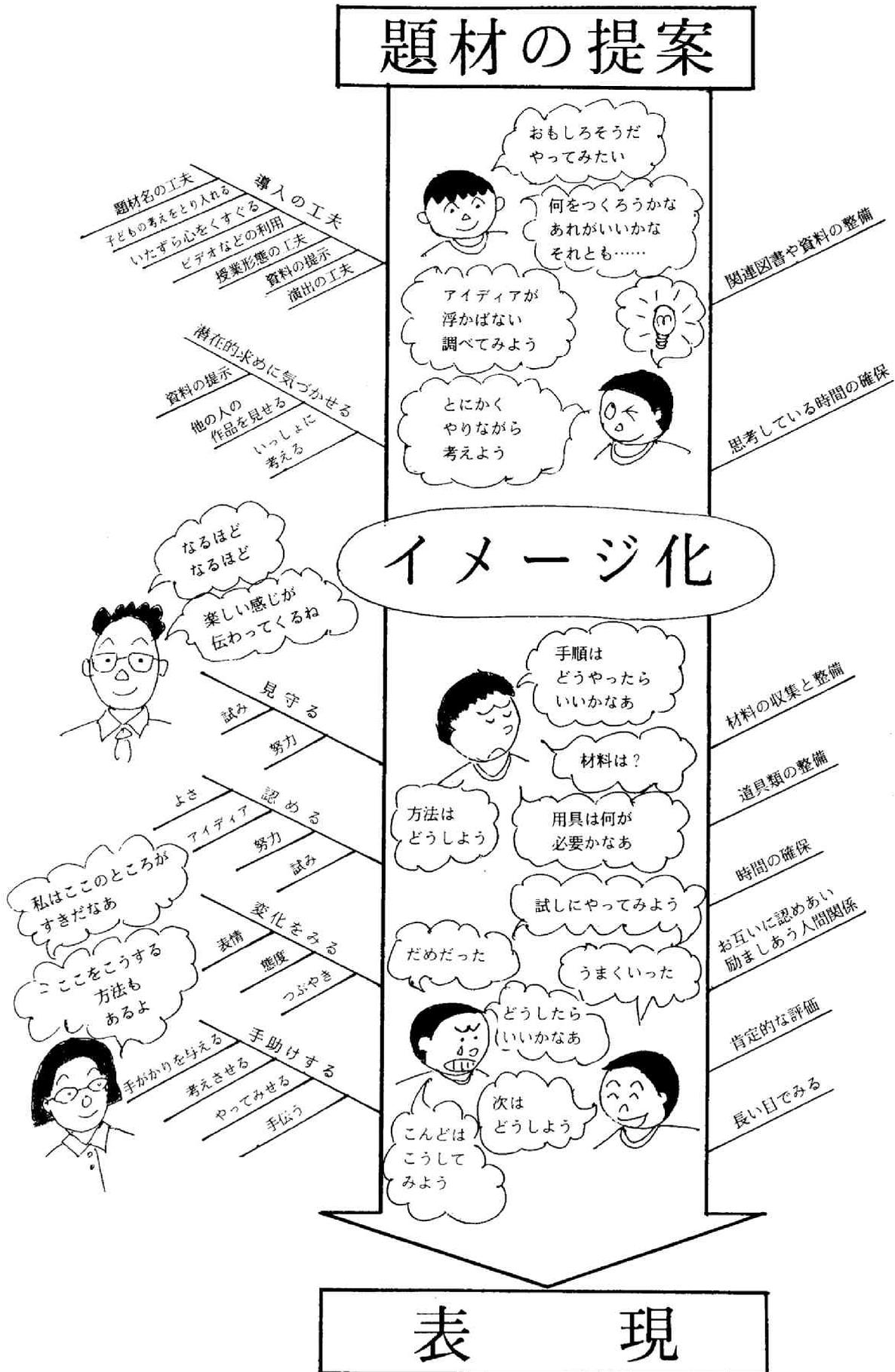


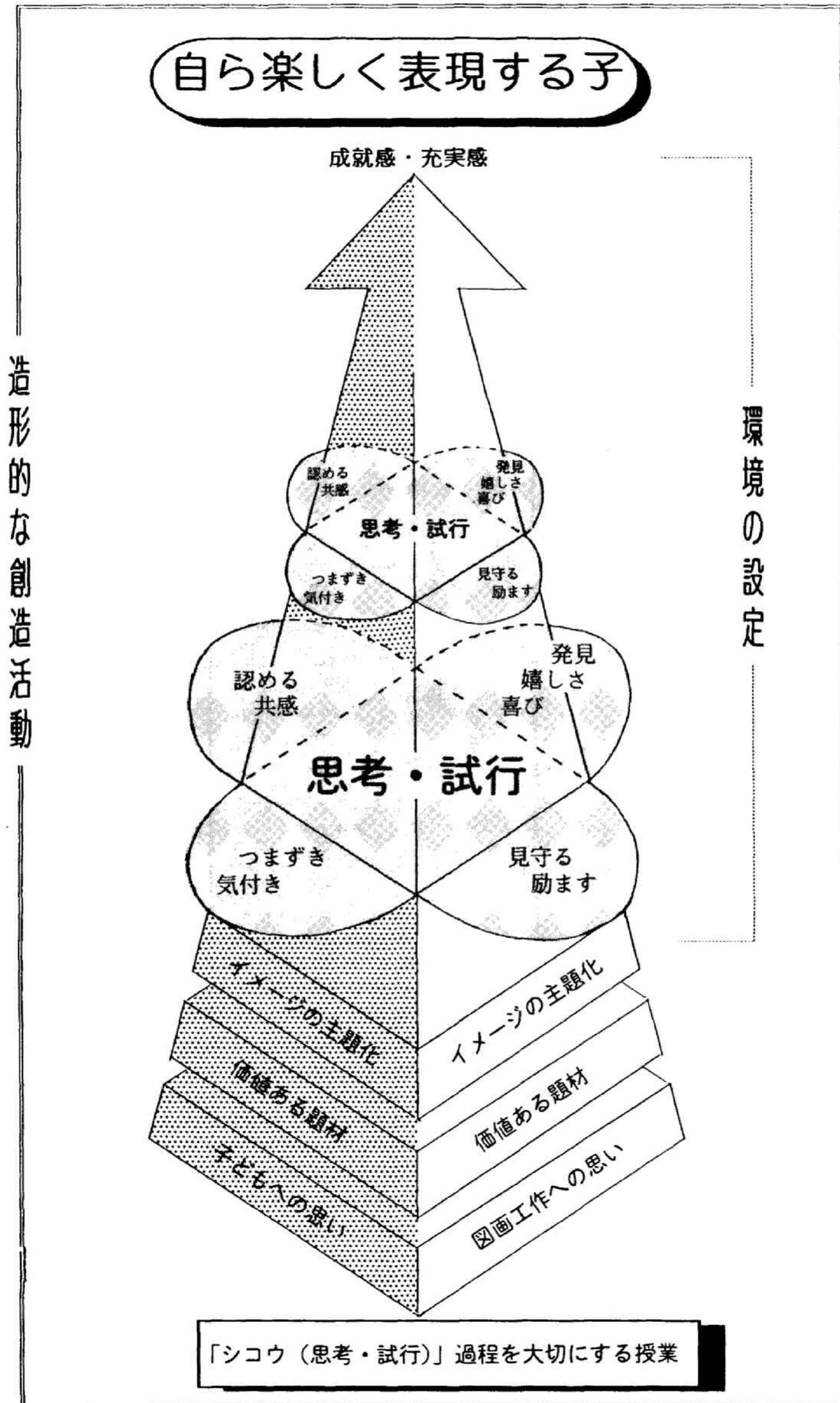
図画工作の授業の中で子どもの思考と試行はどちらが先にあるのではなく、常に相互に啓発し合うことによって造形活動が行われると考える。

また、子どもの表現を深めていく、その一つの手立てとして、意外性のある展開により子どもの心を引き付けるようにした。さらに思考の転換を図るため授業構想を明確にし、学習活動の流れを大切に。子どもが自らもっている力を信じて、教師の働きかけにより造形的な創造活動がより一層深まることを期待した。

図画工作における目指す授業について、次ページの図のように考え研究を進めた。

2 授業構想図





4 研究の構造について

- 造形的な創造活動とは・・・

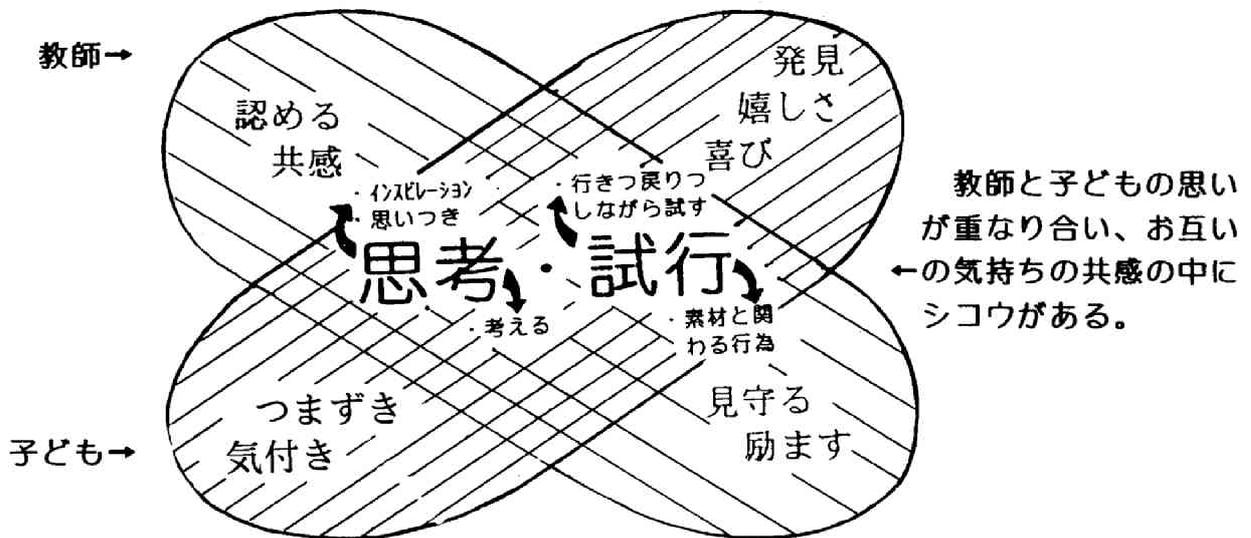
ものとのかかわりの中で自己の内面を開放し、ものに託して表出・表現する活動

- 矢印の進む過程で・・・

自ら楽しく表現する子が育成される

- 目標へ向かって進む過程の断面で・・・

展開の中で、子どもの「シコウ（思考・試行）」へのかかわりがある



子どもと教師のかかわり合いの中で、子どもの気持ちが深まっていく「シコウ（思考・試行）」過程がある。「シコウ過程」は、回数には関係なく、1回で深まる場合もあり、次々と深まっていく場合もある。子どもの「シコウ」を引き出すため、そのきっかけをあたえていく手立てを探って授業の実践と題材例を考えた。

環境の設定 □子ども一人一人が認められる。子どもの思いや試みをみとる・認めるゆとり

イメージの主題化 □テーマ（イメージ・思い・願い）がとらえられ、最後までつながっている

価値ある題材 □育てたい資質や能力が明確で、子どもの心を動かせる主題性をもった題材

子どもへの思い・図画工作への思い □子どもや図画工作への愛

II 実践授業

1 ◆題材名◆ 「地球の声がきこえる」(6年生)

〈授業の構想〉



題材について

子どもたちは、素材と触れあうことで、内にある何かを表出し、形作ろうとする。それもごく自然に、そして時として大胆に。その活動はそれ自体価値あるものだが、加えて繰り返し経験させたいことがある。それは「自分で考え、選び、決めていくこと」「出くわす問題を他者とのかかわりの中で乗り越えていくこと」である。

本題材は、環境問題、特に「水と緑」をテーマに自分たちにできることは何なのかを考え、「個」と「全体」の思いをまとめ、試行していく過程を大切にしながら、もの作りを展開させたいと考えた。

また、彫塑的な表現は、可塑性があり子どもの思いに柔軟に対応できると考えた。

◆学習活動のながれ(10時間)

子どもの思い・願い ★教師の支援

活動流れ	で あ う お も う	
なげかけ	<ul style="list-style-type: none"> 『環境破壊って何?』 『私たちの生活との関係は?』 『命のつながりを知ってる?』 	<ul style="list-style-type: none"> 『「ほっとするような風景」ってどんな所?』 『その中で何をしたい?』 『その風景を残すにはどうする?』
活動の展開(子どもの思い)	<p>環境を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境破壊を具体的に考える 食物連鎖を調べる 「水と緑」のクイズ <p>♥環境破壊っていうけどあんまり感じないな。</p> <p>♥命のつながりなんて今まで考えた事もないよ。</p> <p>♥ぼくたちの生活が便利になると環境に悪い事もあるんだね。</p> <p>♥どんな生物も循環して土にかえるのね。</p>	<p>大切にしたい風景</p> <ul style="list-style-type: none"> 大切にしたい風景を思う 自然保護のグループを結成 <p>♥水がきれいで冷たくて・・・</p> <p>♥動物や植物が元気</p> <p>♥釣りやキャンプしたい</p> <p>♥理想の風景を作品にしてみようかな</p> <p>♥グループで、一つの風景を作るのはどう?</p>
支援	<ul style="list-style-type: none"> ★地域の問題を取り上げ、身近な事としてとらえられるようにする ★参考図書等を整備 ★他教科との関連を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ★体験した具体的な風景を思い出し、なぜ大切にしたいと感じたのかを考えさせる ★友達とのかかわり合いから発想を広げる

◆ねらい（思考・試行のポイント）

- ・各自の大切にしたい風景をもとに、グループで考え、テーマと関連のある風景を創り出す
- ・動きとバランスを考え、表したい人体の表現を工夫する

◆用具・材料

紙粘土・針金・合板ベニヤ・釘・麻縄
ホットボンド・絵の具・その他

— 授業を終えて —

「環境破壊って何だろう？」という教師の投げかけから始まった授業。毎日のようにマスコミ等で取り上げられているにもかかわらず、実態として見えてきたものは、今までほとんど真剣に考えた事もないというものであった。

その後、他教科で関連内容を同時に学習し身近な問題を考えたり、今までに出会ったほっとする風景を思い出したりしていく過程で、大切にしたい風景が次第に具体化していくようになった。完成して驚いた事は、一つとして同じ風景がないことだ。これは一人一人にテーマがしっかりと根付いたためだと思う。また、全員で一つのパノラマを作り上げた事は、一体感と達成感を味わうのに効果的であった。

彫塑的な立体表現は、初めての経験であり戸惑いや失敗も多かったが、適度な抵抗感もあり、最後まで興味関心が接続した。

今後、造形的な創造活動を軸にして取り組む「総合学習」の一つとして提案したい題材でもある。

つ く る つ た え る

- ・『私たちにできる事は何？』
- ・『どんな表現方法がいいかな？』

- ・『みんなあわせて大パノラマにしてみよう！』
- ・『どんな方法でみんなに伝えようか？』

グループで表す

- ・グループ別のテーマを考える
- ・彫塑的な表現方法の基礎を身に付ける

クラス全員で表す

- ・全ての作品を合体、理想風景の完成
- ・写真撮影・作品展示



♡
ほくたちは「水」がテーマ、ほくは清流でマスを釣っています！



♡
ぐらついたりひびが入ったりして苦労したね。でも、大満足！



- ★つながる面の形や色に注意させる
- ★彫塑的な表現の基礎技法の指導は、全体と個別を織りまぜながら行う
- ★「水と緑を感じる音楽」のコーナー設置

- ★自分の作品がみんなの作品の一部になっている事に気付かせ、一体感をもたせる
- ★お互いのよさを見付け、共感し喜ぶ

2 題材名 「しゃれをいうのはよしなしゃれ」 (6年生)

• 題材について



こういうときに
どういう題材が可
能かなあ？

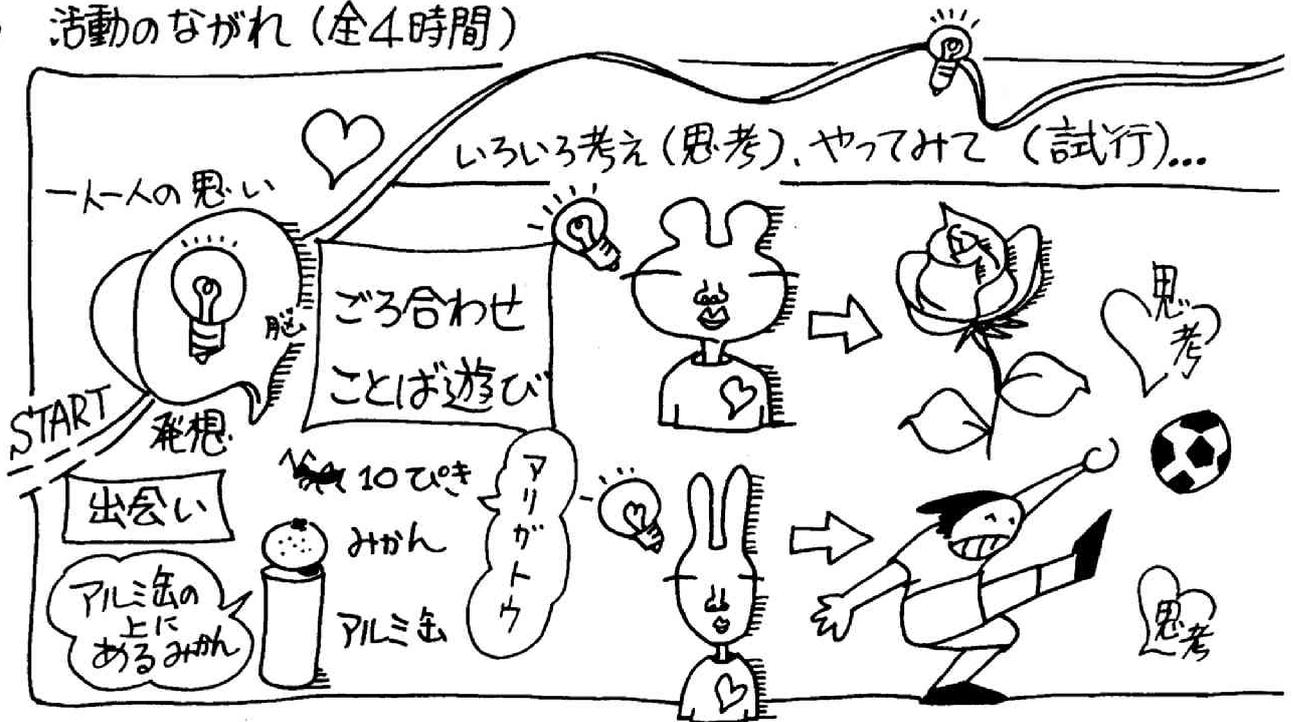
これからどう
する図画工作。
(どうなるでは
ない)
題材数を軽減し
たり、時間数を
削減しなくては
....

平面でもいいよ。
立体でもいいよ。子
どもが好きな「だじ
ゃれ」を図画工作的
にヴィジュアルにしてみせようというわけです。

• ねらい

- (1)柔軟に発想...ひらめき、おもいつきを大切に、こんなこともや
っていいんだという図工・美術ならではのダイナ
ミズムを味わう。(思考過程を大切に作る)
- (2)意欲の持続...本当につくりたいものをつくる。一人一人の思い
から出発して、子どもが自信をもって主体的に製
作する。(つくって面白いからやる気がつづく)
- (3)自己を表現...生涯にわたり自己を表現しつつ生きるための表現
の喜びを味わう。(自分らしい思いをもとにどの
子もカタチにできる)

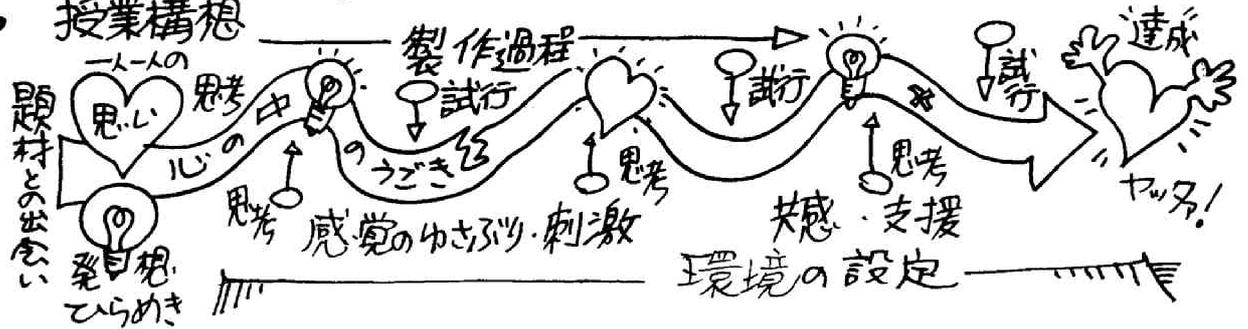
• 活動のながれ (全4時間)



- 材料・用具 (表現の意図に合った材料を子どもがさがし、用具も経験の中から制作に必要なものを自ら選ぶ)

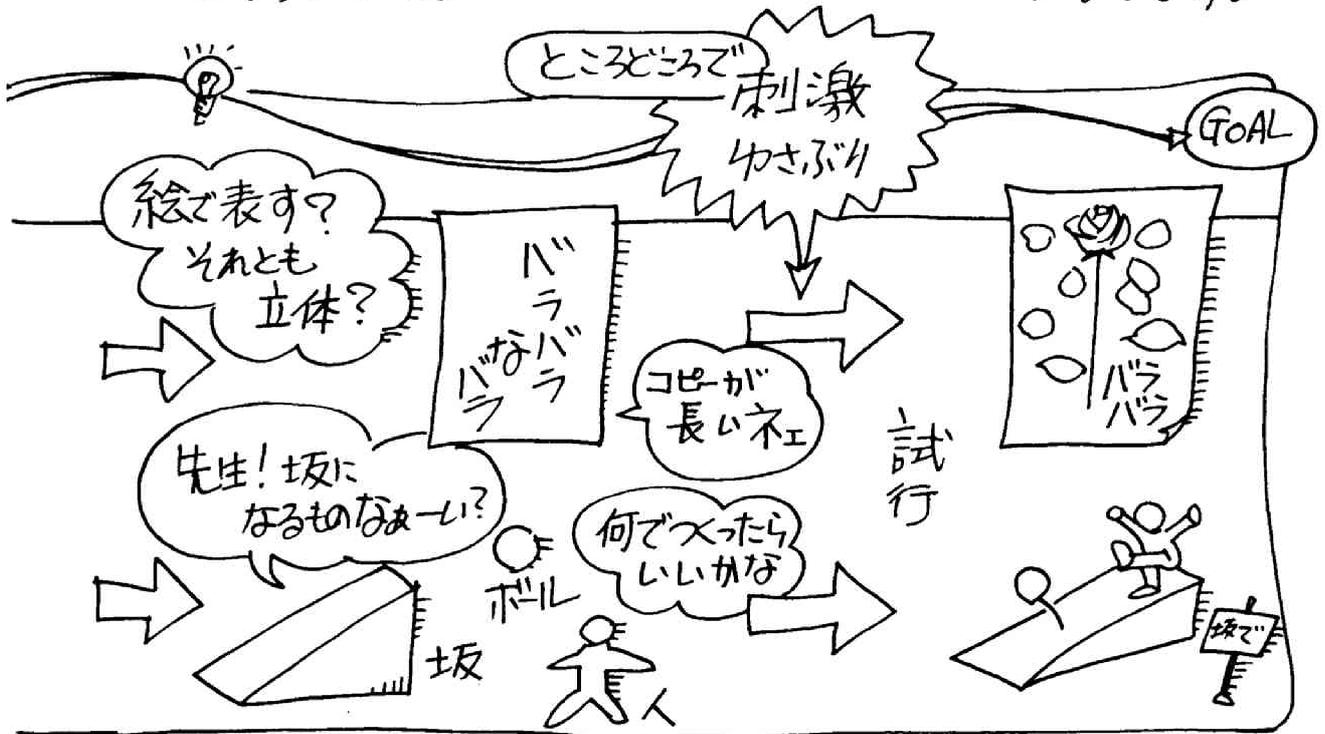


• 授業構想



• 考察

- (1) 時間をかけなければ仕上げられないような題材の内容を見直す手がかかりとなりました。
- (2) 平面でも立体でもよいという方法をとったことで内容を総合的に扱えました。
- (3) 他教科と関連して取り組むことも可能。指導内容面でつながりがあります。



3 ◆題材名◆ 「これ なんだ？」(3年生)

～フシギなたまご(たね)成長中～



◆題材について◆

本題材では、命の不思議さ、美しさ、おもしろさ等に目を向け、子どもたち一人一人が心の中に描く自分のイメージを思いを込めながら形にしていけるようにと考えてみた。そこで、たまご(たね)や、成長中の生き物を題材にし、風船を用い親しみのもてる丸い形を設定した。また、ふりかけながら立体に絵を描くという表現方法を取り入れることにより、自分の手で作品に命の魔法をかけているような感覚を味わいながら、愛情をもって楽しく制作でき、遊び感覚の中で、個々の子どもの思いを生かしながら、色彩感覚やデザイン感覚が育っていくのではないかと考えた。

◆材料・用具◆

材料：風船、和紙、ポンド、のり、耐水性絵の具、色紙、色画用紙、ビニル色紙、飾り紐、針金、綿、リボン

用具：ハサミ、ペンチ、筆

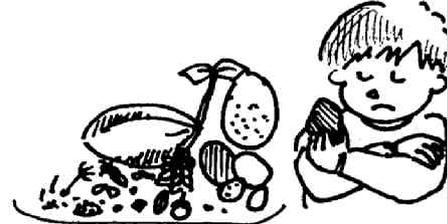
◆ねらい◆ (思考・試行のポイント：◎)

○自然の造形の不思議さや美しさに目を向ける。

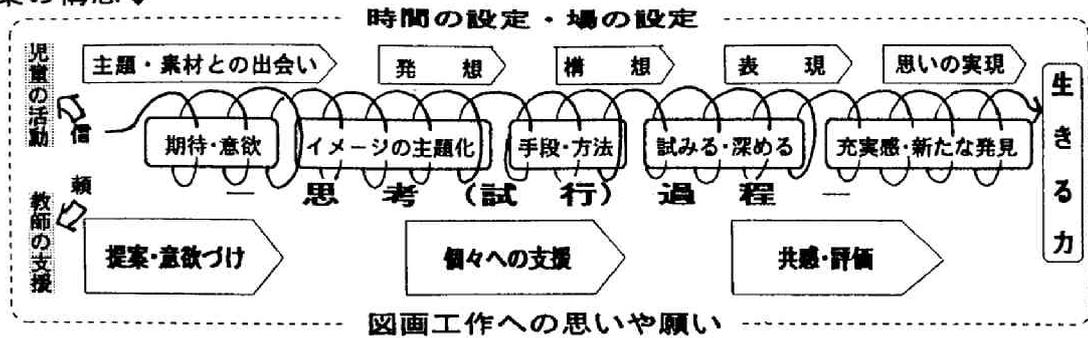
◎自分の思いをもとに新種の生き物を想像しながら、たまご(たね)に命を吹き込む。

◎ふりかけ遊びや、自分で考えた表現方法を生かして楽しくつくる。

◆学習活動のながれ◆ (全4時間) ☆：子どもの思い・つぶやき ◇：共感・支援

	主題・素材との出会い(期待・意欲)	イメージの主題化(発想)
提 案	「さて、この風船どうしようかな…。」 「好きな大きさにふくらませて、ポンドとのりと水を混ぜ、洋服を貼っていきましょう。」	「これはなんだろう。」 (魚、鳥、蝶の図鑑を見てみよう。) 「どんな生き物が、生まれるのかな。」 (卵や種の資料を見てみよう。)
子 ど も の 活 動 と 教 師 の 支 援	○張り子作り 『風船吹いて ぺたぺた紙貼り』 ☆わたしは小さいのがかわいくていいな。 ☆う～んと大きくしてみようかな。 ☆うまくふくらまないよ～ ◇しっかり息を吸って風船の口がはずれないようにね。  ☆大きくちぎってはろう。 ☆こーやってはると、きれいにできる。 ☆うわ～！手がネバネバだ。 ☆たまごみたいだな。 ◇すきまが開いてないかな。 ◇この方が、はりやすいかな。 ◇大きいのができたね。 	○自然の不思議を知る。 『不思議だな よく見よう』 ○生き物を好きな色にぬろう。 ☆きれいな色だな。 ☆おもしろい形だな。 ☆うわ～気持ち悪い。 ☆かわいいな。  ☆ぼくは水色にしよう。 ☆わたしはもようにぬりわけよう。 ◇きれいな色ができたね。 ◇もう少し水を加えたらどうかな。 ◇おもしろいもようだな。 

◆授業の構想◆



◆考察◆

本題材では、子どもたち一人一人が、自分のイメージをもち表現していけるよう、テーマや使う素材を考慮した。風船に紙を貼ってつくった卵（生き物）にボンドで絵を描き、色画用紙をシュレッダーにかけ細かいふりかけ状にしたもので模様をつけたり、好きな物を選んで貼り付けたりした。

風船の大きさも大小それぞれにあり、シュレッダーのふりかけは、いろいろと混ぜたりして、感触を楽しんだり、新しい色を作ったりと、活動も広がった。風船の丸い形から発想し、子どもたちそれぞれに卵が、その中で発想が広がっていった。ぬったり、貼り付けたりする活動以外の、このふりかけるという活動は素材の持ち味を生かし子どもたちには魅力的だったようである。

このような素材のおもしろさを生かし、しかし、それだけに頼るのではなく、子ども自らが考えて表現していけるような幅のある題材設定について、また、子どもと教師とのかかわり合いについてこれからも考えていきたい。

手段・方法（構想）	試みる・深める（表現）
<p>「いのちの不思議を考えよう。」 「いのちの魔法をふりかけよう。」 「いろいろな方法で変身させよう。」</p>	<p>「自分の作品に名前をつけよう。」 「自分の作品のステキなところを教えてあげよう。」 「友達のよいところを見つけよう。」</p>
<p>○ボンドで絵や模様を描く。 ○材料を選んであれこれくっつけよう。</p> <p>☆こんなもようができちゃった。 ☆おもしろい形だな。これを使おう。 ☆この色がいいな。 ☆リボンもつけてみよう。 ☆ふりかけをまぜちゃえ。 ☆もっとシュレッダーでふりかけをつくらうかな。 ☆魚にしようかな。 ☆宇宙船みたいだな。 ◇材料を探してみよう。 ◇他の色も試したら？ ◇ステキなアイデアだね。 ◇かっこいいね。</p> 	<p>○できた生き物に名前をつけよう。 ○自分の作品を紹介しよう。 ○みんなの作ったものを見よう。</p> <p>☆Sくんの方法がいいな。 ☆Tさんのは、とても可愛いな。</p>  <p>☆色もようがステキだな。 ◇友達のよいところを発見しよう。</p>

4 題材名 『浮かぶらく描き』……アルミ線を使って……（5年生）

・題材設定について

子どもがするらく描きをアルミ線で行うことにより、平面的線描から立体的造形へ発展し空間認識へつながればと考えた。

子どもがもつ表現欲求を満たし造形的な創造活動をするには、子どもがどう感じどう表現したいかという思考過程を大切にして、造形的表現行為をするための試行経験が自由に繰り返せることが重要と考え、個々の子どもの思いがそれぞれの表現で形、作品になることを期待した。

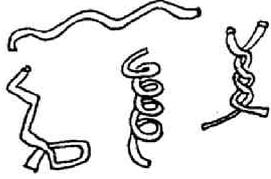
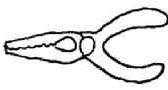
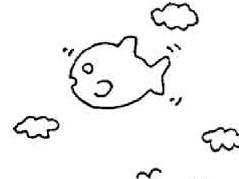
・ねらい

- 素材を楽しみ可能性を発見する。
- 自分の思いを造形的に表現するために工夫し試行する。
- 自分を表現する造形的な創造活動を楽しむ。

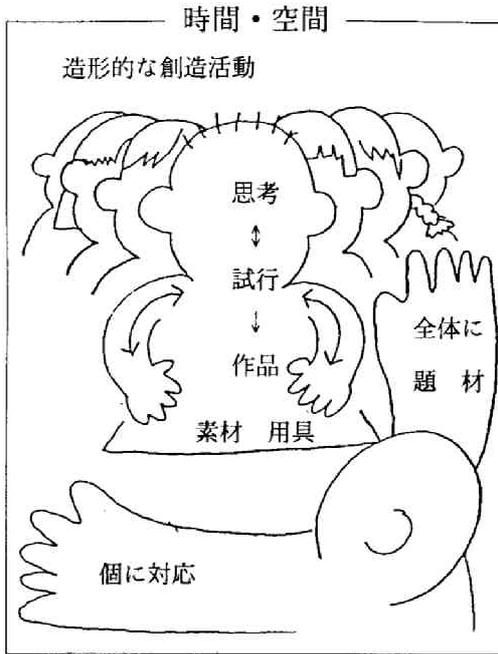
・材料、用具

- アルミ線、ペンチ
- 子どもの望むもの
- 教師の準備できるもの

・学習活動のながれ（全4時間）

子どもの学習活動	教師の提案と留意点
<p>アルミ線であそぶ！ どうしようかな？ 曲げる、折る、ねじる、まく、切る、たたく、つなげる</p> 	<p>このアルミ線で どんなことができるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 素材を十分に楽しませる ◦ 工具の使い方説明 
<p>主題1</p> <p>アルミ線でらく描きする！ 何を描こうかな？</p> 	<p>アルミ線で らく描きしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 制作への助言 ◦ 技法的指導 <p>発見したアルミ線の形を生かして</p>
<p>らく描きをふとらせる？</p> <p>ぐるっと回りから見よう。</p>  <p>横から見る 前から見ると ベツタンコ</p> <p>できた！</p> 	<p>らく描きをふとらせてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 平面から立体へ ◦ アルミ線を十分に準備 ◦ 作品、制作への共感、感想 <p>らく描きを浮かせることができるかな。</p>
<p>思考する</p> <p>空に浮く</p> <p>水に浮く</p> <p>目の前に</p>  <p>空間に</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 他素材、用具の準備 ◦ 個々の児童に対応 <p>つるす、ささえる、立ち上がるのせる、ぶらさげる……。</p> 

・授業の構想



・考察

アルミ線は加工しやすさで子どもの興味を引き、繰り返し形成でき失敗感をもたせない。また、他素材との組み合わせや着色など、発展的な制作に応えることができる。

アルミ線でらく描きすること、それを空間に浮いた状態にすることの二つの主題は、子どもに期待感をもたせながら授業展開をすることができた。

空間に浮いたように見せるという物理的課題は、子どものユニークな発想を生み、経験や発達段階により様々な形を造り出した。

さらに個々の子どもが自分の思いを工夫し表現する方法や材料を見付けるための時間を取ることで、思考し試行することが十分に行なわれ造形的な創造活動を楽しむことができた。

主題2

らく描きを浮かせるぞ！

何をしようかな

木 絹 竹 箱 その他
ひも テグス ハリ金

さあ らく描きを浮かせてみよう。

- ・空間にらく描きを定置する制作への助言、支援。
- ・支持体となる材料の説明 技法的指導

浮いて見えるかな。

- ・作品への共感、感想
- ・友だちの作品を紹介 感想

浮いてる なんとなく、やった

どうしようかな？ あーしてみよう！

もっと 楽しく作ってみよう

色をつける

アルミをつけよう

木を切ってつけよう！

ねん土もいい

布 スチロール

- ・他素材の付けたし、着色の準備 個別指導
- ・子どもの思い、制作行為に対する共感と助言

自分の作品をアピールしよう。友だちの作品の感想は？

作品を鑑賞しよう！ おもしろい

自他の作品のよい点を見付け更に制作への意欲をもたせる

すごい やったね。

5 題材名 「ひみつのたからもの」・・・ (3年生)

題材について

子どもたちは、課題の終わった合間の時間に自分のお得意の絵や好きな絵を嬉しそうに描いている。普段何気なく描いている絵にスポットを当て、周りに工夫を加えることで、いつもの絵を新しい世界に連れ出したい。

また、ボンドの変化による意外性から、一人一人の考えを次の展開へと発展させ、自分の思いを表現する工夫を促したい。

材料・用具

金、銀紙・マーカー
ボンド・カラーインク・色砂
厚紙・綿・色画用紙
カラーセロハン
絵の具など

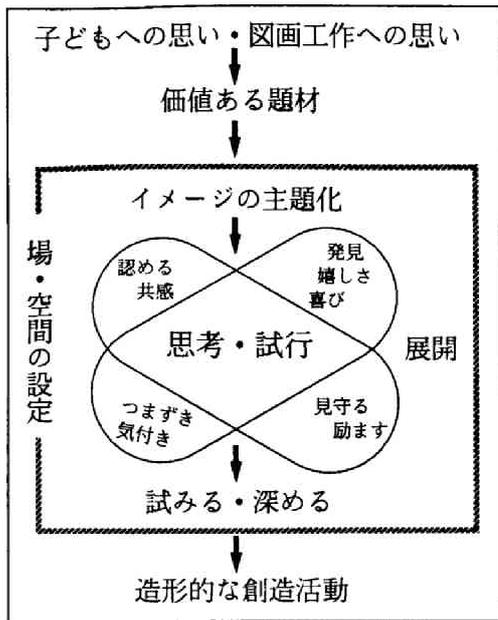
ねらい (思考・試行のポイント)

- ・ボンドが乾き透明になり、いったん隠した絵が現われた段階で、自分のお気に入りの絵をどのように深めていくか考え、自分の思いを生かすための表現方法を思考する。

学習活動のながれ (全4時間) ♣教師の支援 ♥子どもの想いや願い・気付き

	題材との出会い	→	素材の刺激	→
提 案	<p>宝物を描こう (大好きな絵, 大切なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段描いている絵を今日は特別の紙, 金・銀紙に描くよ。 		<p>宝物をかくそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボンドを塗って絵をかくそう。 ・きれいにかくそう。 	
子 ど も の 活 動 と 場 の 設 定	<p>♥好きな絵をかいていいの? ♥金紙にかくと, きれい!</p> <p>・金, 銀紙にマーカーで描く ・好きな形に切る ・ケント紙に貼る</p> <p>♥どこに貼ろうかな?</p>  <p>♣すてきに描けたね。</p>	<p>⇒</p> <p>ボンドを塗る</p> <p>♥見えなくなってしまったけど, 大丈夫かな? ♥乾くと, 見えてくるのかな?</p> 	<p>⇒</p> <p>カラーインクでボンドに色をつけてみる</p> <p>♥きれいだね! ♥ベタベタしておもしろい</p> <p>↓</p> <p>いろいろなものを振り掛ける</p> <p>♣振り掛けすぎない方がきれいだよ。</p>	

＜授業の構想＞



考 察

子どもたちは、自分のお気に入りの絵をいつもとは違う金紙や銀紙に描いていく。とまどいながらもそれをボンドで隠してしまう。しかしボンドを扱っているうちに、今度はボンドの持つ素材の楽しさに惹かれていく。更に次の出会いでは、透明になったボンドの中で絵が輝いて見える。

素材の変化を楽しみ、驚きの声をあげながら子どもたちは次への展開を考えていった。

制約を加えずに自分の好きな絵を中心にしたことで、自分の好きな世界を作り上げていく楽しさを味わい、自分の想いをのびのびと表現することができた。

イメージの主題化（発想） → 手段・方法（構想） → 試み・深め（表現）

見えてしまった宝物を
どうするか考えよう

・ボンドの変化に対する驚きから
次の発想を得る。

・変化した絵を、これからどの
ように深めるか考え、試みる。

♥あれ！見えている！

♣材料テーブルにいろいろな材料を揃えておく。

♥私のは良く見えない！

♥きれいになっている。

♥もっときれいに飾りたい

見えてしまった
宝物をどうする
か、考える。

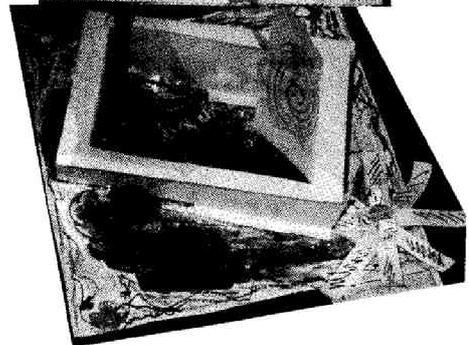
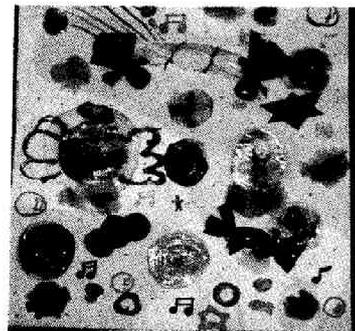


描き足す・飾りを付ける

形を変えて工夫する

♥もう一度隠してみたい

♣自分の想いを表現しよう。



6 題材名 「テレポーテーション」(5学年)

・題材について

他人の心の中は見ることができない、しかし絵を見ることで、その人の心の一部を感じることはできるように思う。普段、友達の絵を鑑賞するときに、形がうまく取れているとか、表現力が豊かであるという点に目の向くことが多く、何を考え、どんなことを表しているかを、感じるまで関心が高まっていないように思う。また、自分が描くときにも、ここまで描けば良くて、それ以下なら良くない絵であるという見えない約束事を子どもも感じているようである。表現するためにはある程度の表現力は必要であると思うが、それより大切なのは自分が感じたことを自分なりに表せることだと思う。今回の題材は、別々の考えをもつ友達と別々に感じ考えた絵を一つにすることで、友達の絵を感じ、自分の発想や表現の活性化を図れたらと願い考えた。

・ねらい

・違う考えをもつ友達の世界と穴を通してつながることをきっかけにして、自分らしい発想や構想をする。

・自分の感じたことを自分なりに表す。

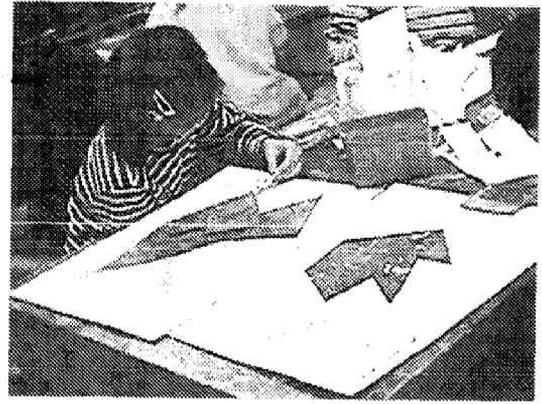
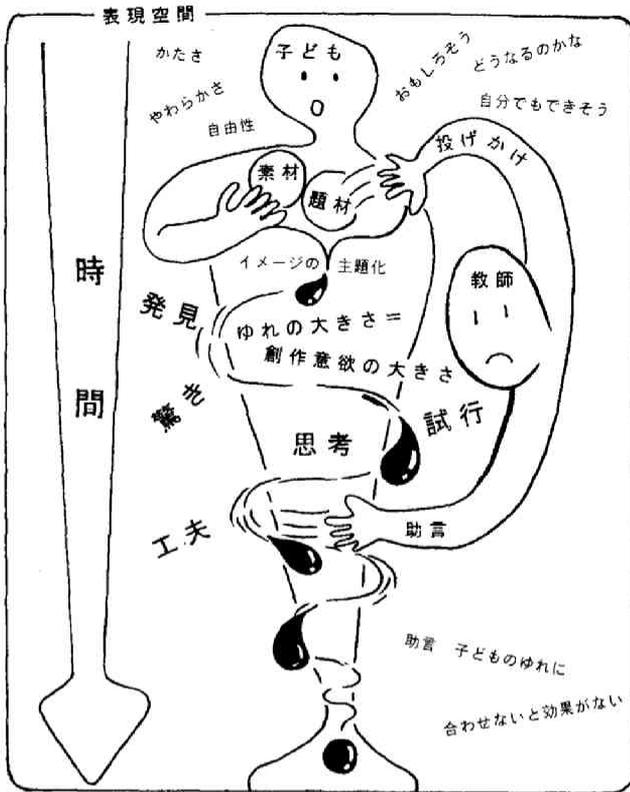
・材料・用具等

画用紙、絵の具、描画材、カッター、コピーした友だちのスケッチ、はさみ、のり

・学習の流れ



・授業の構想



・考察

- ・子どもたちにとって、“テレポーテーション”は馴染みの薄い言葉だったが、あまり抵抗を示すこともなく、新鮮に楽しんで取りかかることができた。
- ・友達と二人で絵を完成させることで、また、友達の絵が見えないことで、出来上りを期待する子どもが多く、意欲が持続できた。
- ・主題を子どもの思いにまかせる部分が多く、イメージの膨らましが、少し足りなかった。



Ⅲ 題材紹介

低学年

1

カラフルワールド

ローラー遊びから
イメージをふくらませて
楽しく描こう。

準備

画用紙・ローラー・版画インク
アクリルえのぐ・カラーペン

子どもの学習活動
? 思考 & 試行のポイント

♡ 教師の支援
♣ 指導上の留意点

好きな色を使って楽しくローラーを転がそう。

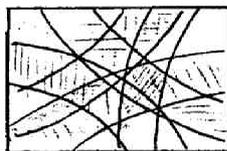
? 何色のインクを使おうかな?
? どんな向きに転がそうかな?
? 色を重ねたらどうなるかな?



♣ ローラー遊びを十分に楽しませる。

イメージをふくらませてアクリルえのぐで描こう。

? いろんな形が見えてきたよ!
? 何を描こうかな?



♣ 一人一人の発想を大切にする。
♡ イメージが広がらない児童には
声をかけて支援する。

カラーペンを使ってもっとカラフルに描こう。

? どんな色を使って
何を描こうかな?



♡ 楽しい色使いの作品を紹介する。



低学年

2

ひみつのかせき

準備

石膏・ビニール袋
おはじき・ビー玉
粉絵の具 など

— 思考・試行のポイント —

- 化石のもっている時間的な感覚をもとに各自で自由に発想する。
- 石膏の特徴，溶く水や粉絵の具の量，用具の扱いを試みる。
- 自分なりに化石づくりをイメージして，いらなくなった貝殻やビー玉，おもちゃなど好きなものを石膏が固まる前に入れる。
- 石膏の入ったビニール袋を手でもんで，自由に形をつくる。



低学年

3

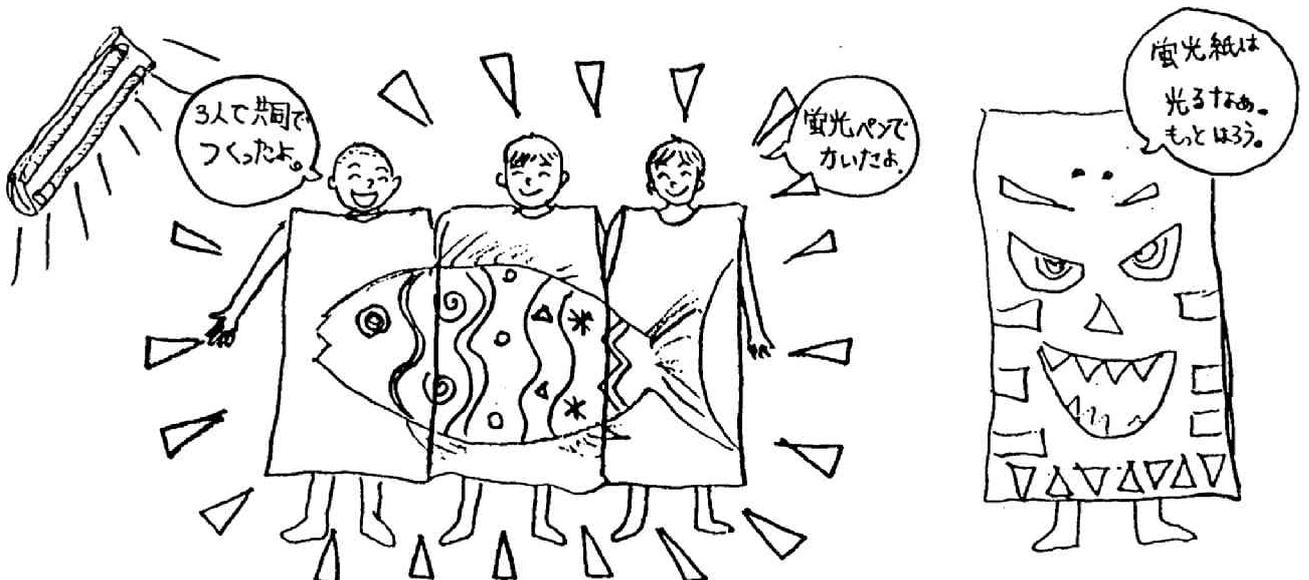
へんしんしちせおう ひからちせおう

準備

ブラックライト・
蛍光紙・蛍光ペン
ゴミ袋 など

— 思考・試行のポイント —

- ブラックライトで光らせたい世界を考え，構想を深める。
- ゴミ袋を切ったり，つないだりして形を工夫したり，色の組み合わせを考える。
- 蛍光灯の効果を確認めながら，模様を付け加えたり，かき加える。



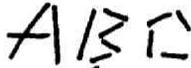
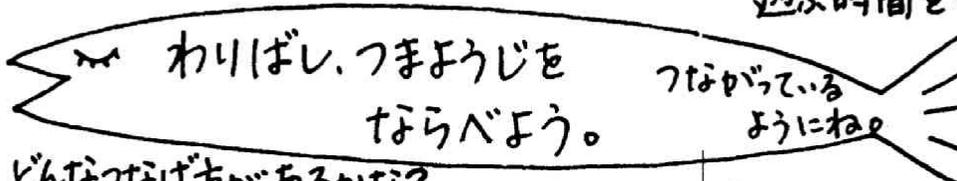
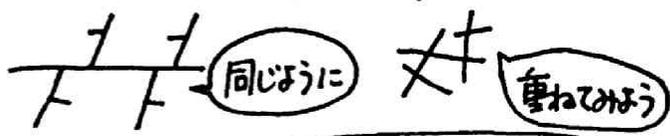
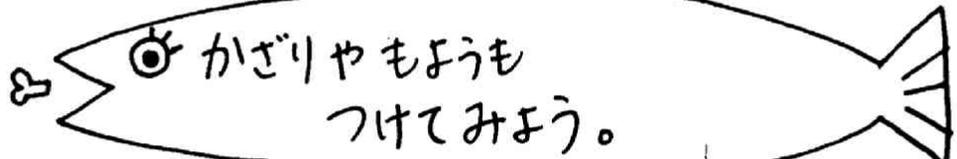
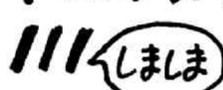
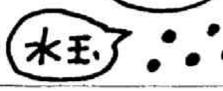
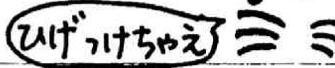
ほねから

魚

ぎょ 魚 うおー

偶然 並べた棒の形から、
魚を誕生させよう!

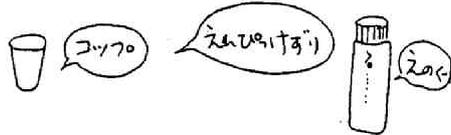


子どもの学習活動	教師の支援・指導上の留意点
<p>思考 & 試行のポイント</p> <p>* 材料を配る。</p> <p>家  家の形ができた</p> <p>A/B/C  英語だよ</p> <p>わりばし、つまようじを つなべよう。</p> <p>? どんなつなげ方があるかな?</p> <p> つなげている ようにね。</p>	<p>♥ 材料、用具 わりばし、つまようじ 絵の具、画用紙、 接着剤</p> <p>♣ 配ってから少し 遊ぶ時間をとる。</p>
<p> 同じように  重ねてみよう</p> <p>これは骨だよ。 不思議な形の魚をかこう。</p> <p>? どんな色や形にしようかな?</p> <p> どんなふうに つなげようかな?</p>	<p>♣ ボンドをたっぶり 使って画用紙に 接着(取れやすい ので)</p>
<p> かざりやもようも つけてみよう。</p> <p>? どんなもようやかざりにしようかな?</p> <p> しましま</p> <p> 千イタ</p> <p> 水玉</p> <p> ひげ、つけちやえ</p> <p> えのこ たけのこ</p>	<p>♥ わりばしや、つまようじの 先端を結ぶ形で 考える方法もあること を、ヒントとして与える。</p> <p>♥ 全体のバランスを 助言</p> <p>♥ 友だちの作品を 紹介</p>

中学年
2

つつんでひらいて

ものに直接触れながら立体と平面を体験する
題材である。



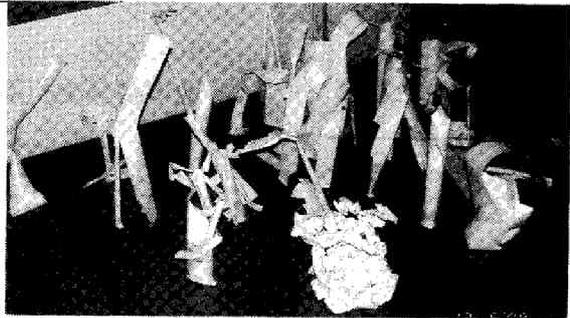
<思考&試行ポイント>

- ① 紙で何かを包もう。.....何を包もうかな？
どうすればうまく包めるかな？ 
- ② どんな形だったかな？.....こすり出すとどうなるの？
こすり出してみよう。.....どんな色にしようかな？
- ③ ものを取り出し、.....開くとどうなるのかな？
ぬけがらを台紙に貼ろう。.....どんなふうに台紙に貼ろうかな？

中学年
2

紙を立てよう

題材名の通り「紙を立てる」というシンプル
な行為を体験するものである。作りながら考
え、考えながら作る。



<思考&試行ポイント>

- ① 紙を立てよう.....紙1枚で何をするの？
高さは30センチ以上。
様子も考えてね。.....どんな立て方があるのかな？



.....どんな様子があるかな？
.....何を使えばいいかな？ 

高学年

1

紙のレリーフ

黄ボール紙などの材料を使ってレリーフを作る。
半立体になるように、考えて作る。

*最後に、金属調仕上剤をぬる（好みで腐食液をかける）と、銅板などでできているような仕上がりになる。

準備

黄ボール紙・木工用ボンド
はさみ・カッター・絵の具
金属調仕上剤（金・ブロンズ）
金属腐食液
その他思い付いた材料
（たこ糸、布など）

子どもの学習活動 思考 & 試行のポイント

教師の支援(♡)と 指導上の留意点(♣)

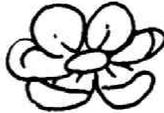
レリーフをつくろう

?何でできているのかな? ?何を作ろうかな?

黄ボール紙などで作ります。半立体になるよう、工夫してみよう

?どうしたら半立体になるかな?

- ・貼り合わせる
- ・曲げる
- ・カッターで切り込みを入れて曲げる



花びら



- ・穴をあける



- ・他の材料を利用する
(ひも、たこ糸
段ボール
紙レース、網袋 など)

☆紙の曲げ方について、いくつか示す。

♡表したいものの感じが出ているものや、曲げ方などの工夫を認める。

♡使いやすそうな材料を用意しておく。

台紙に貼っていこう

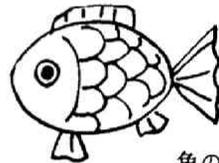
?貼り合わせ方によっても感じが出せるかな?

- ・重なるように貼る

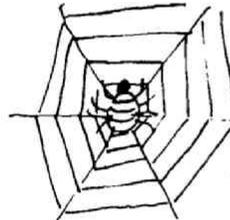
色をつけよう

?何でぬろうかな?

- ・メタルカラーでぬる。
- ・部分的に絵の具を使う。
- ・金属調仕上剤を塗った上に腐食液をかける。



魚のうろこ



くものすを
たこ糸で

☆使い方、換気に注意

「銀河鉄道の夜」 宮澤賢治の名作を、21世紀に生きる児童らしく描いています。宇宙に飛び立つ銀河鉄道を描くことで、夢や希望や勇気が表現されます。「図画工作→理科」「図画工作→国語」



「色々な焼き物」

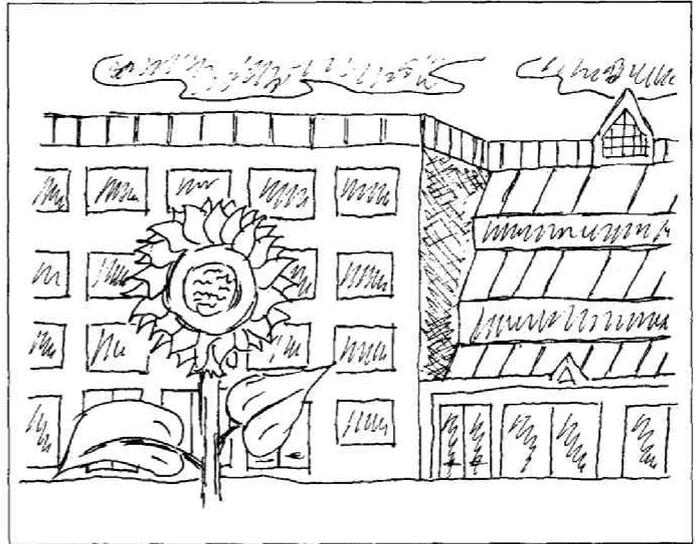
高学年にもなると、テラコッタ粘土や本焼きの粘土で、多様な作品を、自分の考えや様々なことを思考しながら表現できます。今後の、総合的学習でも活躍する素材でしょう。「図画工作→生活科」「図画工作→社会科」「図画工作→理科」



「校舎が見えた」

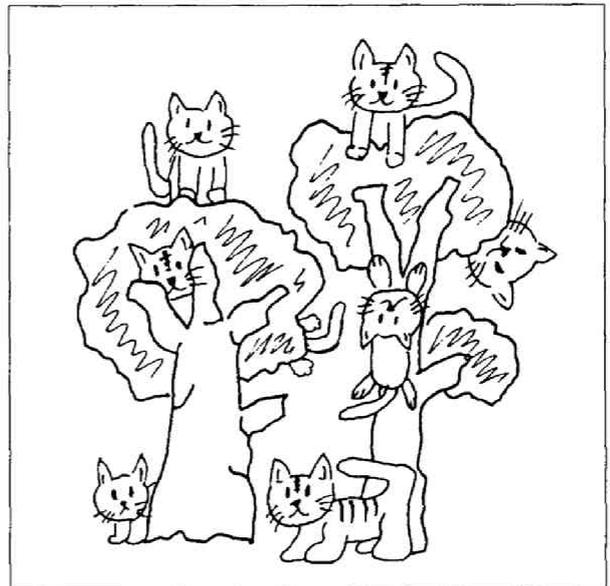
手前のヒマワリは、色鉛筆で簡単に彩色し、雨の日に彩色をします。児童が、上手に色を見付けています。

「図画工作→特活・道徳（愛校心）」



「猫のいる木」

色画用紙をちぎり絵にして、基になる木をつくります。猫は、色々な資料を参考にして、物語ができあがるように、別の画用紙に描き、切り貼りをしています。「図画工作→国語」



IV 研究の成果と今後の課題

1 研究の成果

本研究を通じ、成果として以下のことを得ることができた。

- (1) 「造形的な創造活動」についての認識を深めることができた。

授業構想に基づく実践から、子どもが思考し、また試行して、さまざまな力を発揮できる多様な要素をもった題材や創造活動に託して内面を表出することが見て取れた。造形活動そのものだけが目的でなく、子どもの「心の動き」を大切にしたい、その過程こそ、「造形的な創造活動」と呼ぶことが、研究の筋道としてとらえられた。

- (2) 教科の特性を浮き彫りにすることができた。

図画工作では、元来、結果所産の作品のみでなく、過程を大切にしてきたところである。本研究においても「シコウ（思考・試行）」過程に注目して学習者が主体の授業を展開したことによって、あらためて教科のもつ特性を確認できた。

- (3) 図画工作の新しい見方を論ずることができた。

授業の展開部に着目し、子どもの「シコウ（思考・試行）」の過程をとらえ、見出しとした内的過程の在り方を示す実践であり、これまで指摘されることが少なかった、展開の多様性を意識して図画工作の授業を分析することができた。

2 今後の課題

- (1) 子どもとのかかわり方について

研究の成果をさらに充実したものとしていくには、日々の学校生活の中において、教師と子どもとのかかわり方に配慮することが一層重要となってきた。

教師は、いつも子どもの先に先にと注意や説明をしがちである。子どもたちに自分で考える力を育てるためには、子ども自身が考える機会を十分に保障しなければならない。子どもが必要としている場面や、より表現を深めさせたいと教師が考えた場面等のほかは、子どもの活動を愛情をもって見守るようにしたい。

しかし、それには多くの時間が必要となるが、個々の子どもの特性などを考慮しながら、子どもと一緒に考えるなどの援助を行っていくことが大切である。

校内組織等を生かしたTTや担任等との連携による協力授業の工夫も今後一層充実させていきたい。

- (2) 「総合的な学習の時間」との関連について

① 「総合的な学習の時間」を試行した取り組み

これからの教育において期待される、新学力観の具体的な姿である「生きる力」の育成を目指して、横断的・総合的な視点に立った授業を推進することが必要である。

② 「総合的な学習の時間」と図画工作との関連

各学校の実態に応じ、図画工作科の特性を生かして積極的に、教科・領域や学校行事に参画することにより、相互に関連性をもった活動が一層可能となると考える。